

## 『感染症レジデントマニュアル 第3版』 正誤表

このたびは『感染症レジデントマニュアル 第3版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。  
本書の第1刷(2025年12月15日発行)におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2026年3月2日作成

刷数	訂正箇所	誤	正
1	グラム染色アトラス p.3 「2. グラム陽性双球菌」 メモの6～7行目	髄膜炎ではMIC $\leq$ 0.25 $\mu$ g/mlのみがPSSP であり, 0.5 $\mu$ g/ml $\leq$ はPRSPの判定となる	髄膜炎では <u>MIC<math>\leq</math>0.06<math>\mu</math>g/ml</u> がPSSPであ り, <u>MIC<math>\geq</math>0.12<math>\mu</math>g/ml</u> はPRSPの判定とな る
1	p.186 本文 最終行	FOM (ホスホマイシン) 1g, 1日3回, 点滴, 2日 間	FOM (ホスホマイシン) 1g, 1日3回, <u>内服</u> , 2 日間 ( <u>p.483参照</u> )
1	p.201 Memo「比較的徐脈」7～8行目	「1° F = 5/9 °C」の関係があるため, 摂 氏で1度 (1°C) 上昇すると	<u>「°C = (°F - 32) × 5/9」, 「Δ°C = Δ°F ×</u> <u>5/9」</u> の関係があるため, 摂氏で1度(1°C) 上昇 ( <u>華氏で1.8°F上昇</u> ) すると
1	p.285 上から2つ目の見出し	効果判定と治療の終了または変更	<u>発熱が遷延し, 速やかな好中球回復が望めな い場合</u>
1	p.300 表10-49 FMOX, ABPC/SBTの 半減期 (時間)	空欄	FMOX <u>0.8</u> ABPC/SBT <u>ABPC 1.4</u> <u>SBT 1.7</u>
1	p.326 本文 下から10行目	AMKの投与量は15/mg	AMKの投与量は <u>15mg/kg</u>
1	p.345 本文 下から2行目	( $\geq$ 1 : 500)	( $\geq$ 1 : <u>512</u> )
1	p.436 「4 抗菌薬の選択」の4行目	経口 : AZM 500mg, 1日3回	経口 : AZM 500mg, <u>1日1回, 3日間</u>
1	p.521 表内 FOMの用量 (/回) と 間隔 (H)	8g (日本 4g) 12H	<u>4～8g</u> (日本 <u>1～2g</u> ) <u>6～12H</u>